

おぐい



2017

5

NO. 751

● 広報





～今日から私も1年生～

自分の名前が呼ばれると「はいっ！」と元気よく大きな返事をして、立ち上がるピカピカの1年生。

4月7日、小国小学校の入学式が行われ、新入生48人は上級生たちが作る花のアーチの下を笑顔で堂々と入場していました。



▲災害情報等を発信する役場防災無線室

安全安心なまちづくりのために ～小国町防災行政通信システムを整備しました～

近年、全国各地で頻繁に大規模災害が発生する中、住民へ災害情報をいち早く提供する手段である「防災行政無線」の整備が進められています。

本町では、平成26年度からの3カ年、防災行政無線を導入するための準備を進め、本年3月末に完成し、4月3日から小国町防災行政通信システムの運用を開始しました。

今月は、本町で整備した防災行政無線を紹介します。

災害に強いまちづくり

近年、東日本大震災や熊本地震などの大規模地震や集中豪雨による河川のはんらん、土砂災害、さらには豪雪など多くの災害が全国各地で発生

しています。本町では、昭和38年の「38豪雪」、昭和42年の「羽越水害」、平成16年の豪雨災害などを経験し、こうした災害を教訓に、国や県な

どの関係機関、団体とともに災害に強いまちづくりを進めてきました。

災害発生時に町民の生命、財産を守り、被害を最小限に抑えるためには、災害情報を迅速かつ確実に伝えることが

大変重要になります。町では、広報車や消防団による広報に加え、平成23年度に携帯エリアメールを導入しながら、災害時における情報伝達体制を構築してきましたが、町内全域に災害情報を瞬時に伝達す

る仕組みの整備が課題となっていました。こうしたことから、平成26年度から3カ年計画で防災行政無線の導入に向けて設計、整備を進め、今年度から小国町防災行政通信システムの運

用を開始しました。4月3日、役場庁舎ロビーにおいて、関係者約50人が出席して運用開始式を開催し、仁科町長が防災ラジオと屋外スピーカーから運用開始を宣言しました。

小国町防災行政通信システムの概要

防災行政無線とは、都道府県や市町村等が地域における防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的とし、併せて平常時には一般行政事務に使用できる無線局のことです。

近年の大規模災害の発生を契機に、全国の自治体では防災行政無線の整備が進められています。

防災行政無線は、ラジオや屋外スピーカーによるものなど、さまざまなシステムがある中、各自治体特有の自然・地域環境などを配慮しながら

整備が進められ、総務省の調べによると平成27年度末時点で全国の約8割の自治体で整備されています。

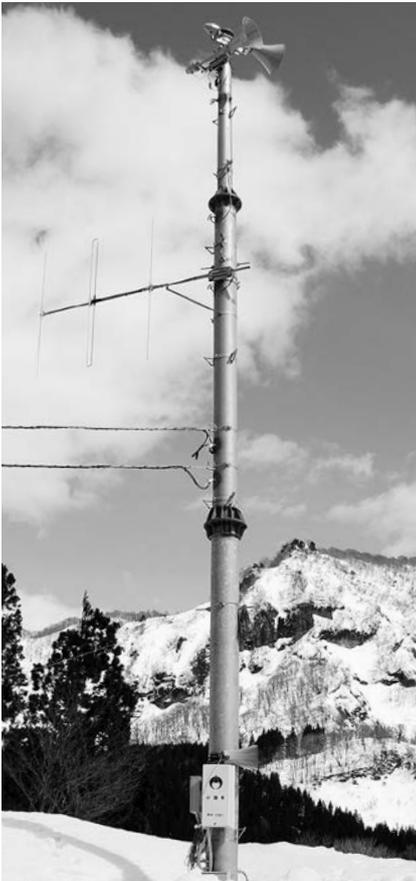
本町は、急峻な山間部に囲まれ町中心部から放射状に集落が形成されているため、災

害時において孤立集落が発生する可能性があること、冬期間は町中心部で約2メートル、周辺部では3〜5メートルの積雪があることなどの地形・自然条件を考慮するとともに、人口減少、少子高齢

化などの社会環境の変化により、高齢者などへの簡単かつ確実な情報伝達、災害弱者に配慮したシステムを構築する必要がありました。

こうした条件に対応できる防災行政無線の在り方を検討しながら、平成26年度に基本設計、27年度に実施設計、28年度に整備工事を実施し、総事業費3億6328万8800円を投じて、小国町防災行政通信システムが完成しました。

このシステムは、全世帯、全事業所等に配布した防災ラ



屋外拡声子局(旧小玉川小中学校)



役場庁舎内防災無線室

ジオから放送するものと町内13カ所に設置した屋外拡声子局（屋外スピーカー）から放送する2つのシステムの連携による複合型になっています。

防災ラジオの放送は、役場庁舎内防災無線室から発信した情報が、衛星通信や沖庭山中継局などを経由して、防災ラジオから音声として流れる

システムです。

防災ラジオに使用している電波は、かつてポケットベルに使用されていた280メガヘルツ帯の電波で、広範囲に伝達することが可能であるとともに、屋内にも届きやすいためどこに置いても緊急情報を受信することができます。

屋外スピーカーの放送は、防災無線室から情報を発信し、沖庭山中継局と中田山崎ふれあい広場に設置した簡易中継局を經由し、町内13カ所のスピーカーに伝達するシステムです。町内13カ所の屋外スピーカーのうち、指定避難所などの各地域の拠点となる8施設に設置したものは、町役場との双方向の通話ができる機能を備えています。

また、同じ8施設には、消防団無線の簡易アンテナと携帯型無線機（消防団無線）を設置し、避難所周辺での災害情報などを消防団が情報収集する拠点として活用すること



屋外スピーカー及び中継局等の位置

もできます。

町では、防災ラジオに発信した情報を瞬時に屋外スピー

カーからも放送可能にするため、2つのシステムを連動させて整備しました。このシス

特集 安全安心なまちづくりのために

テムは、東北地方の自治体では最初の取り組みです。

今後は、災害時等における迅速かつ正確な緊急情報の発

信を行うとともに、平常時には各種行政情報等の発信にも

防災行政通信システムを活用していきます。

防災行政システムの放送は定期放送と緊急放送

防災行政通信システムでは、「定期放送」と「緊急放送」を行います。

■定期放送

定期放送は、「時報」、「訓練放送」、「火災予防」の3つです。流れる音量は、各世帯、事業所で個別に設定したボリュームで放送されます。なお、屋外スピーカーは、全て既に設定している音量で一律に流れます。

○時報

4月3日からすでに放送しています。午前7時、正午、午後7時の1日3回チャイムと行政情報を放送します。行政情報は、全町的な催事やイベント情報などをお知らせする予定です。

○訓練放送

毎年6月上旬に開催する消防演習と、10月上旬に開催する総合防災訓練の際に、サイレンを放送します。

○火災予防

4月中旬の春の火災予防運動と11月中旬の秋の火災予防運動期間中、昨年度までは午前7時と午後6時に役場庁舎の非常サイレンを鳴らしていましたが、今年度から、防災ラジオ及び屋外スピーカーから火災予防に関する放送を行います。

■緊急放送

緊急放送は、「災害関係」、「消防関係」、「気象情報」、「公害情報」、「有害鳥獣情報」、「国民保護情報」の6つです。流

れる音量は、自動的に防災ラジオの最大音量で放送されます。

○災害関係

台風などの大雨による被害が予想される場合や、町が「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示（緊

急）」を発令した場合に対象地域に放送します。放送の例（避難準備・高齢者等避難開始）

「こちらは、防災小国です。荒川の水位がはんらん注意水位に到達したため、避難準備・高齢者等避難開始を発令しました。お寄りのかたなど避難に準備がかかるかたは、あらかじめ定められた避難場所へ避難してください。その他のかたも避難の準備を始めてください。」



平成16年豪雨災害で増水した横川

この場合には、屋内の安全な場所に待機し、落ち着いてハザードマップ等で指定緊急避難場所、指定避難所などを確認しましょう。

○消防関係

地震などの大規模災害が発

生じた場合や、町内で火災が発生し、建物の延焼拡大が予想される場合に対象地域に放送します。

放送の例（火災）

「こちらは、防災小国です。ただいま、〇〇地区で火災が発生しています。現在も延焼中で、風下にあたる〇〇地区の住民のかたは、直ちに〇〇へ避難してください。」

大規模災害時、延焼拡大が予想される放送があった場合には、落ち着いて火の元を確認のうえ、警察や消防などの誘導に従いましょう。

〇気象情報

緊急地震速報（置賜地域で震度4以上が予想される場合）と特別警報、土砂災害警戒情報、竜巻注意情報などの特殊な気象情報が発令された場合に放送します。

緊急地震速報及び特別警報は、気象庁が発信した情報が本町のシステムを通して、町内の防災ラジオ・屋外スピー



平成16年豪雨災害時の土砂崩れ現場（町道松岡大石線）

カーからサイレンと一緒に放送されます。

放送の例（大雨特別警報）

「こちらは、防災小国です。当地域に、大雨特別警報が発令されました。周囲の状況を見て、避難行動をとってください。」

特別警報や土砂災害警戒情報などは、早朝、夜間にも発令されます。この場合、避難方法として、指定避難所等への避難のほかに、自宅内の最上階で山側と反対側の場所へ移動する垂直避難と呼ばれる

方法もあります。

〇公害情報

PM2.5や光化学オキシダントなどが基準値を超えた場合に放送します。

放送の例（光化学オキシダント）

「こちらは、防災小国です。小国町役場からお知らせします。午前〇〇時〇〇分、小国町内に光化学オキシダント注意報が発令されました。お急ぎの用務以外の自動車の使用は、なるべく控えてください。目が痛んだり、咳が出たら屋内に入り、水で目を洗い、うがいをするともに、小国町役場までご連絡ください。」

〇有害鳥獣情報

人家や通学路などにクマの出没情報があった場合に対象地域に放送します。

〇国民保護情報

大規模テロ、ゲリラ、特殊部隊攻撃、弾道ミサイル攻撃等が発生し、本町に危険がある場合に、全国瞬時警報システム（Jアラート）によって

内閣府から発信された情報が、本町システムを通して、町内の防災ラジオ・スピーカーから流れます。

放送の例（弾道ミサイル攻撃）

「ミサイル発射情報。当地域に、着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ、ラジオをつけてください。」

この場合には、屋内でテレビやラジオなどから情報収集を行います。

〓落ち着いて行動を〓

以上6つの緊急放送は、時間に関係なく夜間、早朝にも流れます。

また、内閣府が発信する国民保護情報と気象庁が発信する特別警報、緊急地震速報は、本町を対象に発信されると本町システムを通して、防災ラジオ、屋外スピーカーから自動的に放送されるようになっていきます。

音声の流れる前に聞き取れないサイレン音が鳴ります。

そして、最大音量で放送されます。放送が流れた場合には、慌てずに情報を確認してください。万が一聞き逃した場合

には、防災ラジオにある「聞き直し」ボタンを押すことで最後に放送した内容を再度確認することができます。

さらなる防災体制の強化

整備した防災行政通信システムによって、災害情報の収集や緊急情報の発信が可能になります。災害発生初期段階においては「自助」、「共助」が大変重要になります。

町では、地域が主体となつて防災・減災・災害対策に取り組む「自主防災組織」の組織率が低い。組織率を高めながら防災体制の強化を図っていくことが課題となっています。

このため、自主防災組織が防災資機材等の整備を行う経費に対する支援とともに、自主防災組織の活動強化と災害時の初動体制の確立のため、地域で防災訓練などを行う団

体に対し支援することとしています。

また、指定避難所等への避難所表示看板等を設置するとともに、食料や飲料水などの備蓄品を計画的に整備し、災害時における避難所体制の整備を進めていきます。

自然災害の発生を私たちの力で止めることはできません。しかし、家庭や地域などで日頃から災害に備えることが、災害時の被害を抑えることにつながります。

今後とも、家庭、地域、行政が一体となった防災・減災・災害対策を展開しながら、安心、安全なまちづくりを進めていきます。

小国町防災行政通信システムのあれ、これ。

- Q. 防災ラジオとスピーカーの音がずれているのはなぜ？
- A. 防災ラジオに発信した内容をシステムがスピーカー用に変換するため、スピーカーの音が遅れて放送されています。
- Q. スピーカー同士でも音がずれて聞こえるのはなぜ？
- A. 同じ音が重複して聞きとりづらくならないようにするため、グループ分けをして時間差をつけて放送しています。
- Q. ラジオ・スピーカーから聞こえる声は誰が放送しているの？
- A. システムに文字入力をした情報が、音声に変換され防災ラジオ・スピーカーから放送しています。
- Q. 普段ラジオを聞かないけど、どこに置いておけばいいの？
- A. 普段家庭の中で人がいる部屋の窓際に設置してください。防災ラジオをコンセントに接続しておくことで、主電源を切っても、役場からの放送（定期放送、緊急放送）の際には、自動起動して放送が流れます。
- Q. 町内で引っ越し（転居）をする（町外に転出する）場合は？
- A. 防災ラジオは町からの貸与品となっていますので、紛失することがないように管理をお願いします。町内で転居する場合は、放送グループの設定変更が必要なこともあります。窓口での手続き時にご確認ください。町外に転出する場合には、転出手続きをする際に、役場窓口まで防災ラジオを持参してください。

■小国町防災行政通信システム問合先

- 防災行政通信システム全般 総務企画課情報・危機管理担当 (☎ 62-2112) へ
- 防災ラジオの使用方法 防災ラジオコールセンター (☎ 0120-388-280) へ



魅力的な学校づくりのため ～小国高校を支援する会総会～

小国高等学校を支援する会（安部昌晴会長）の平成28年度総会が3月29日に開催されました。総会では、平成29年度の事業計画及び予算が承認されるとともに、支援する会の活動を広く周知していくことが決定されました。同会は、魅力に富んだ小国高校の教育環境づくりへの支援を進めていくこととしていますので、趣旨に賛同されるかたは事務局（町教育委員会 ☎62-2141）にお申し込みください。



仲間と切磋琢磨しながら ～スポーツ少年団入団式～



小国町スポーツ少年団本部入団式が、4月9日、町民総合体育館で開催され、各少年団から約130人が参加しました。入団式では、佐藤健治郎本部長があいさつで「活動を通して自分の力を伸ばし、体力・友達づくりに励んでほしい。」と話されました。入団式後には体力テストが行われ、腕立て伏せや上体起こしなど計5種目に一生懸命取り組んでいました。

私たちが地域を守ります ～小国町消防団辞令交付式・春の火災予防パレード～



小国町消防団辞令交付式が、4月9日、おぐに開発総合センターで開催され、13人の新入団員や昇格した幹部団員などに対し辞令が交付されました。

伊藤孝太郎団長に代わって佐藤義昭副団長が「今年新たに入団した団員には、消防団員としての自覚を持って、日ごろから訓練に励んでいただきたい。先輩団員には、あらゆる災害に対応できるように新入団員を指導するとともに、一人ひとりが技能向上できるように訓練に励んでいただきたい。」と訓示をしました。

辞令交付式後には新入団員研修が行われたほか、各分団が春の火災予防パレードに出発しました。



1年の無事故を願って

～交通安全祈願祭・春の交通安全運動～



小国町交通安全推進協議会が主催する交通安全祈願祭及び春の交通安全運動出発式が、4月6日、大宮子易両神社で行われ、小国警察署や小国地区交通安全協会など、7団体約40人が参加しました。

交通安全祈願祭後、春の交通安全運動出発式が行われ、パトカーが町内を巡回し交通安全を呼びかけました。



また、4月6日から15日までの春の交通安全運動期間中には、各小学校の新入学児童への啓発活動や街頭指導、各保育園でのチャイルドシート装着指導、街頭啓発などが行われ、交通安全団体が「交通事故に気をつけましょう」と言葉を添えながら、啓発チラシやポケットティッシュなどを手渡していました。

series
13

協力隊通信

地域おこし協力隊
みやざき
宮崎

みほ穂
美穂



▲小国で映画「ふたりの桃源郷」を上映しよう実行委員会のかたがた

「冬と春のあいだに」

晴れやかな青空と温みのある空気が、訪れつつある春を知らせてくれます。山には冬を残していますが、道端の採りそこなったフキノトウが勢力を増し、むくむくと昇ってくる春のエネルギーを一心に吸収しています。今になって思えば、名残雪が大変多い印象でした。でもふとした瞬間に出会う春の気配は、確実に冬の終わりを告げています。東京にいた頃よりはっきりと四季を感じているのですが、その色合いは美しいグラデーションになっていて、ちょうど4月は冬色から春色へと変わる絶妙な季節だと思いました。“四季”では表すことのできない小国ならではの季節。皆さんなら何と名づけるでしょうか。どんな厚い雪の下でも芽吹きを春を信じ耐える山菜を見習って、今年度も頑張ります。

羽越水害から50年

災害の爪痕をたどって

その①

ひと晩にして平和な緑の町をどろ沼へと一変させた昭和42年8月28日の「羽越水害」から今年で50年。

時間雨量最大70ミリ、日総雨量532ミリ。当時1年間に降る雨量の4分の1が1日にして降ってしまった。この雨がもたらした被害総額は76億円余りで、当時の町予算の20年分が一夜にして流されたのである。

羽越水害から50年を迎える今年、当時の被害や復旧・復興の様子などをシリーズで紹介합니다。





▲上空から見た町中心部の被害

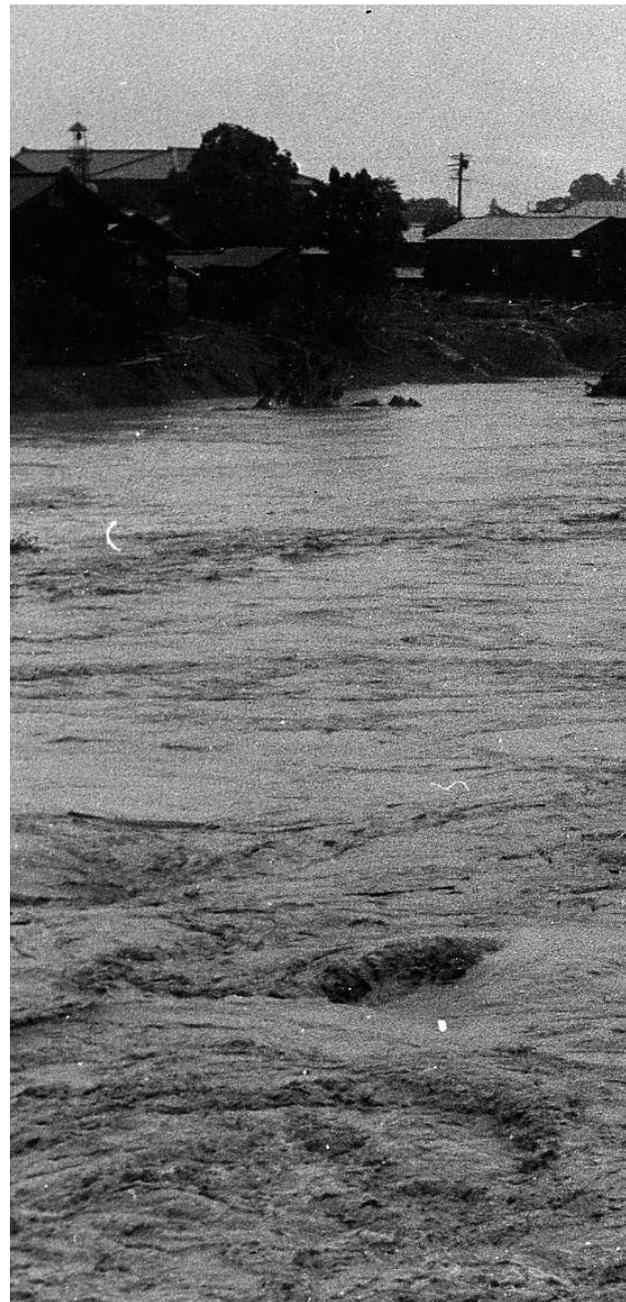


▲小国小坂町地区から見た小国大橋



▲家の基礎まで浸食された横川右岸小国町

▶赤坂橋から小国大橋を望む (昭和42年8月29日未明)





～白い森ロゴマークです～

町では、多様な地域資源のブランド化を図り統一したブランドイメージを構築するため、ロゴマークを作成しました。

「白い森」の文字は、豊かな恵みをもたらしてくれる清らかな雪解けの水の「しずく」でかたどられており、シンボルマークは水滴が集まって雪の結晶をかたどり、3つ集まることで森をイメージしています。

小国町の人々が集まってひとつになるというメッセージが込められたこのロゴマークを、町ホームページやパンフレットなど、今後さまざまな場面で活用していきます。



町立病院内科に
えのもと まなみ
榎本 愛実 先生

出身地
山形県鶴岡市
専門
消化器内科

4月3日から、町立病院の内科に榎本愛実先生が着任し、診療にあたられています。

榎本先生は、鶴岡市出身で、3月までは山形県立中央病院に勤務されていました。専門は消化器内科です。

榎本先生は「小国の雪の残っている山の景色がとてもきれいに感じました。小国町の四季を楽しみにしながら、休日は町を散策し、町の良いところをたくさん見つけたいと思います。病院では、誠心誠意診療にあたらせていただきますので、よろしく願いいたします。」と話してくださいました。

第24期

緑のふるさと
協力隊
が着任しました

やまなか なち
山中 那智 隊員

年齢 20歳
出身地 和歌山県和歌山市
活動地域 沖庭地区



4月12日、第24期緑のふるさと協力隊として山中那智隊員が着任しました。

山中隊員は和歌山県出身の20歳。専門学校在学中にツキノワグマなどの野生動物について研究し、わなの狩猟免許を所持しているそうです。この度、舟渡地区で生活をしながら1年間沖庭地区を中心に活動することになりました。

山中隊員は「多くの人と関わりながら、暮らしの中に息づく文化や技を学び、元気なまちづくりの役に立ちたいです。」と意気込みを語ってくれました。

平成30年度採用
小国町職員を募集します

■職種と募集人員

① 上級行政 若干名

② 上級土木 若干名

■受験資格 昭和62年4月2

日から平成8年4月1日ま

でに生まれたかたで、大学
(短期大学を除く)を卒業し
たかた(平成30年3月大学
卒業見込みのかたを含む)

■試験内容

▽第1次試験

① 教養試験(大学卒業程度)、
職場適応性検査、作文試験

② 教養試験(大学卒業程度)、
専門試験(大学卒業程度)、
職場適応性検査、作文試験

▽第2次試験

第1次試験合格者を対象に
面接試験を行います。

■試験日及び試験会場

▽第1次試験 6月25日(日)

山形テルサ(山形市)

▽第2次試験 7月下旬～8

月上旬 小国町役場

■募集期間 5月9日(火)から

6月5日(月)まで(必着)

■受付時間及び受付場所

午前8時30分～午後5時15分

▽持参する場合

総務企画課行政管理担当へ
直接提出してください。

※ただし、土曜、日曜及び祝
日は日直の職員に提出して
ください。

▽郵送の場合

封筒の表に「小国町職員採
用試験受験申込書在中」と
朱書きのうえ、簡易書留に
より郵送してください。(6
月5日(月)まで必着)

■受験票の交付

受験申込書の受理後、本人
あてに送付します。(届い
た後に氏名や住所等に変更
があった場合は連絡してく
ださい)

■その他

申込書の請求方法や提出
書類など、詳しくは町ホー
ムページをご覧ください。

■問合先 総務企画課行政管

理担当(☎62・2112)へ

出産支援事業のお知らせ

子育てしやすい環境づくりを進めるため、妊娠・出産等に要する経済的負担を軽減し、安心して出産を迎えられるよう「出産支援金」を給付しています。

■助成対象者

平成29年4月1日から平成30年3月31日までに母子健康手帳の交付を受けたかたで、申請時に妊娠中で小国町に住所のあるかた
 ※平成29年4月1日以降に小国町に転入されたかたで、他市町村の母子健康手帳の交付を受け、申請時に妊娠中のかたも対象になります。

■助成金額 妊婦のかた1人に対し5万円(うち3万円は白い森共通商品券)

■申請方法 健康管理センターでの手続きが必要です。(印かん、母子健康手帳、本人または配偶者の銀行口座番号等をお持ちください。)

■問合せ先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

～赤ちゃんがほしいご夫婦を応援します～

特定不妊治療費助成

■助成対象者

小国町に住所を有し、山形県特定不妊治療費助成の対象となるかた、または夫婦合算の控除後の所得額が730万円未満のかた

■助成内容

医療保険適用外の「体外受精・顕微授精」に対し、上限10万円を助成

※治療内容によって、上限額が変わります。

詳細は健康福祉課に問い合わせください。

■申請方法 申請書と以下の書類を提出

①特定不妊治療費助成事業受診等証明書(県助成該当のかたは写し)

②県特定不妊治療費助成金給付決定通知書の写し(県助成該当のかたのみ)

③特定不妊治療に要した費用に関わる領収書

④ご夫婦の所得証明書(県助成該当のかたは不要)

⑤所得額算出表(県助成該当のかたは不要)

■問合せ先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

町政懇談会

各地域や団体のかたがたから、身近な話題などをお聞きし、まちづくりについて意見交換する町政懇談会を開催します。

■対象団体 各地区の自治会、婦人会、老人クラブ、文化団体など、町内で活動する団体

■開催方法

①希望する日時、懇談会のテーマなどを明記した申込書を提出してください。申込書は役場またはホームページから入手してください。

②町長のほか、関係する課長などが出席します。

③会場の設定、進行は各団体でお願いします。

■申込・問合せ先 総務企画課企画財政室政策企画担当 (☎62-2264) へ

地域医療懇談会

町立病院では、現在取り組んでいる地域医療に対する考えかたなどを広くお知らせするとともに、住民のかたがたからご意見、ご要望をお聞きし、社会環境の変化に応じた病院にしていくため、地域医療懇談会を開催します。

■対象団体 各地区の自治会、婦人会、老人クラブ、スポーツ・文化団体など町内で活動する団体や企業、任意の5人以上による参加者

■開催方法

①町立病院へ電話で申し込みください。

②院長のほか、関係する職員が出席します。

③会場の設定は各団体でお願いします。

④進行は町立病院が行います。

■申込・問合せ先 町立病院 (☎61-1111) へ

認知症予防プログラム

「健康サポート講座」のご案内

■日時 5月18日(木)10:00~11:30
毎月1回開催しています。

■場所 健康管理センター 風のホール

■対象者 概ね65歳以上のかた

■問合せ先 健康福祉課・地域包括支援センター (☎61-1000) へ

医療用ウィッグ（かつら） 購入費用助成

町では、がん患者の皆さまの就労や社会参加を支援するため、ウィッグの購入経費の一部を助成します。

■助成対象者（全項目を満たすかた）

- ①小国町に住所を有するかた
- ②がんと診断されたかた
- ③がんの治療による脱毛のため、就労や社会参加に支障がある、または支障が出る恐れがあり、ウィッグが必要となっているかた
- ④平成28年度以前に、本事業による助成を受けていないかた
- ⑤他の法令等に基づく助成等を受けていないかた

■助成対象経費

平成28年4月1日以降に、医療用ウィッグを購入した経費

■助成額 2万円または、購入経費の1/2の額のいずれか低い額

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

風しん抗体検査および 予防接種費用の助成

安心して妊娠・出産ができる環境を整えるため、風しん抗体検査と予防接種の費用を助成します。あらかじめ健康福祉課に連絡し、受診票の交付を受けてください。

■助成対象者

【抗体検査】小国町に住所を有し、次の①から③に該当するかた。ただし、過去に抗体検査を受けたことがあるかた、風しんに罹患したことがあるかた、および予防接種を2回実施したかたは対象になりません。

- ①妊娠を希望している22歳から50歳の女性（妊娠中、妊娠している可能性のあるかたは除く。）
- ②抗体価が16以下の①の夫および同居家族
- ③抗体価が16以下の妊婦の夫および同居家族

【予防接種】抗体検査の結果、抗体が十分でないこと確認されたかた

■助成金額 【抗体検査】上限7,000円

【麻しん風しん混合ワクチン】上限10,950円

【風疹ワクチン】上限7,310円

■受付期間 平成30年3月9日(金)まで

■問合せ先 健康福祉課（☎61-1000）へ

情報公開制度と個人情報制度の平成28年度の運用状況について

■情報公開制度 情報公開請求58件（決定件数51件、取り下げ5件、翌年度繰越2件）

○内訳 ◇全部公開16件 ◇部分公開23件 ◇非公開17件（不存在含）◇異議申し立て1件

※1件の請求に対し分割して公開決定したものがあため、決定件数より内訳の計が多くなります。

■個人情報保護制度 個人情報取扱事務届出件数502件

○内訳 ◇町418件 ◇教育委員会41件 ◇選挙管理委員会21件 ◇監査委員2件 ◇農業委員会16件

◇固定資産評価審査委員会1件 ◇議会3件（総務企画課行政管理室）

入札結果情報（平成29年3月21日～平成29年4月20日実施）

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.3.30	平成29年度町道舗装補修業務委託	町道全路線	H30.3.31	2,816,000	小国開発(株)	2,800,000
H29.3.30	平成29年度町道道路維持修繕業務委託(第1工区)	町中心部	H30.3.31	2,335,000	(株)船山工務店	2,300,000
H29.3.30	平成29年度町道道路維持修繕業務委託(第2工区)	東部・東南部	H30.3.31	2,396,000	安部工業(株)	2,300,000
H29.3.30	平成29年度町道道路維持修繕業務委託(第3工区)	南部	H30.3.31	2,821,000	(株)アラマサ	2,800,000
H29.3.30	平成29年度町道道路維持修繕業務委託(第4工区)	北部・北東部	H30.3.31	3,276,000	遠藤建設(株)	3,200,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

ご案内

県管理河川で伐採している支障木を無償提供します

■日時 5月30日(火)～31日(水)
午前9時～午後4時

■場所 置賜白川飯豊橋下流
東側の河川敷(飯豊町添川
地内)

■対象者 自ら積込み運搬できるかた

■提供量 1人当たり軽トラック1台程度

■申込 事前の申込み不要。
当日現地で申込みをするか、役場に設置されたチラシまたは県ホームページに掲載された申込書に記入し、当日持参ください。

■問合先 置賜総合支庁西置賜河川砂防課(0238・88・8234)へ

裁判所見学会

■日時 5月17日(水)

13時10分～15時

■場所 山形地方・家庭裁判所米沢支部

募集

町営住宅入居者募集

■内容 裁判手続説明・裁判員制度説明及び法定見学等
■定員 先着15人
■申込方法 事前に電話で申し込みください。
■申込・問合先 山形地方裁判所米沢支部庶務課(☎0238・22・2165)へ

《あけぼの高齢者団地》

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下
で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることのできる同居の場合と同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

《小坂町勤労者住宅》

2DK 2戸(1、2階)

2K 1戸(3階)

■家賃 38000円(2DK)
33000円(2K)

町内の空間放射線量をお知らせします。

～数値も人体に対して影響のない水準です～

■4月17日(月)の空間放射線量

測定場所	測定値(μSv/h)
小国小学校 グラウンド	0.04

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

※今年度より山形県の放射線モニタリング実施方針見直しに伴い、観測地点を1カ所に変更しております。

※3か月に1回(4、7、10、1月)調査を実施しています。

■問合先 町民税務課町民生活担当へ

山形県警察官募集

■試験区分と受験資格

①警察官A

昭和57年4月2日から平成12年4月1日までに生まれ、たかたで、大学を卒業または平成30年3月までに卒業見込みのかた

②警察官B

昭和57年4月2日から平成12年4月1日までに生まれ、たかたで、「警察官A」の受験資格に該当しないかた

■申込み期間

①4月25日(火)～6月19日(月)

②7月14日(金)～8月28日(月)

■試験日程

①7月9日(日)

②9月17日(日)

■試験内容

教養試験、身体測定、体力検査

■申込・問合先 小国警察署(☎62・0110)へ

5月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 5月26日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成29年1月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 5月26日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成28年5月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 5月17日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成26年9月、10月、11月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■5月の広場日程

広場名称	曜日	時間
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)
パパと遊ぼうの日	5月20日(土)	9:30~11:30

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた
パパと遊ぼうの日 就学前のお子さんとお父さん

■その他 申込不要です。お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でもなかよし広場を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

5月3日(水)	長井	松下歯科医院	0238-87-0878
5月4日(木)	南陽	さくら歯科クリニック	0238-27-8241
5月5日(金)	米沢	ながまち歯科医院	0238-22-5118
5月7日(日)	高島	千葉歯科医院	0238-57-4618
5月14日(日)	米沢	中川歯科医院	0238-23-2062
5月21日(日)	南陽	黒江歯科医院	0238-47-2154
5月28日(日)	米沢	漆山歯科医院	0238-23-4840

求 人 情 報

右の表は4月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
遠藤建設(株)	重機オペレーター見習い	1人	8:00~17:00
	土木施工管理技士	1人	
	一般作業員	2人	
(株)高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00~17:00他
齊藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員及び一般事務	1人	9:00~18:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
社会福祉法人 白百合保育園	保育士	1人	8:30~17:00他
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00~17:00
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
社会福祉法人 小国福祉会	介護員	1人	6:30~15:30他
	介護員【年度更新】	1人	
第一ホール小国店/ (有)コンズカンパニー	ホールスタッフ	1人	8:30~16:15他
	ホールスタッフ【パート】	2人	
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	1人	8:00~17:00
日清医療食品(株)仙台支店	栄養士	1人	9:00~18:00他
	調理員	1人	5:30~14:30他
	調理師	1人	5:30~14:30他
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~17:00
(有)白い森よこね物産品直売所(小国道の駅)	販売及び調理スタッフ	2人	9:00~18:00 の間の5時間程度
特定非営利活動法人まんまる	(臨)支援員【急募】	2人	7:00~18:30 の間の5時間

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2017.5

5月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●5月26日(金) 水道料

●5月31日(水)

固定資産税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

おぐに開発総合センター

二宮の湯 ～特別営業のお知らせ～

ゴールデンウィーク中も営業いたします
5月3日(水)、4日(木)、5日(金)（3日間）
営業時間10：00～20：30（受付20：00まで）

■問合先 教育委員会（☎62-2141）へ

～火の取り扱いには 十分ご注意ください～

春は空気が乾燥し、山火事の発生しやすい時期ですので、以下の点に十分注意しましょう。

- ①枯れ草など燃えやすいものがある場所でたき火をしない。
- ②火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。
- ③強風時および乾燥時にはたき火、火入れをしない。
- ④火入れをする時は必ず許可を受けること。
- ⑤喫煙は指定の場所で行い、吸い殻は投げ捨てない。
- ⑥火遊びはしない。（産業振興課）

平成29年度自動車税（県税）の 納税について

自動車税の納期限は

5月31日(水)です。

お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。忘れずに期限まで納めましょう。

■問合先 県置賜総合支庁税務課
 （☎0238-26-6014）へ

総合センター 図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇沈黙法廷	佐々木 譲
◇しんせかい	山下 澄人
◇幻庵	百田 尚樹
◇クローバーナイト	辻村 深月
◇四月になれば彼女は	川村 元気

相 談

▽年金相談

■日 時 5月17日(水)
 10：30～14：00

■場 所 役場大会議室

■対応者 米沢年金事務所職員

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日 時 5月17日(水)
 10：00～12：00

■場 所 アスモ街なかギャラリー

■対応者 町人権擁護委員

■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽特設人権相談

■日 時 6月2日(金)
 10：00～15：00

■場 所 おぐに開発総合センター

■対応者 町人権擁護委員

■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日 時 5月27日(土)
 10：00～12：00

■場 所 役場

■対応者 司法書士 舟山健蔵氏

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先
 町民税務課町民生活担当へ

▽弁護士無料法律相談

■日 時 6月2日(金)
 10：00～15：00

■場 所 おぐに開発総合センター

■対応者 町顧問弁護士

■申込・問合先
 町民税務課町民生活担当へ



戸籍のまど

(3 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

- 小国町大関 凛 (貴 裕)
 松岡加藤 南那美 (賢 太 郎)
 小国町今 ふうか (貴 依 久 美)
 小国町矢部 さやの (直 留 樹 美)
 若山斎藤 琉 吾 (晃 詩 央 司 里)
 小国町山口 春 希 (将 樹 美 里)

結婚おめでとうございます。

- (田 沢 頭 鈴 木 俊 寛)
 (金 目 齋 藤 樹 莉)
 (最 上 町 高 橋 孝 彰)
 (湯 花 五 十 嵐 咲 恵)

おくやみ申し上げます。

- 緑町舟山 千代 (80)
 小国小坂町 近 孝 (73)
 東原渡邊 重子 (84)
 小国小坂町 遠藤 庄三 (91)
 小玉川藤田 喜代男 (83)
 小国小坂町 安部 ヤスエ (86)
 小国小坂町 渡邊 ノブ (96)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年3月31日現在)

人口	男	3,893人	(-37)
	女	3,994人	(-44)
	計	7,887人	(-81)
世帯数		3,073世帯	(-27)

編集後記
 今月号から、50年前の羽越水害による被害などを写真を使って紹介しています。私自身、水害のことを詳しくわかりませんが、このシリーズの取材を通して学び、さらに50年後の若者たちに伝えていけるようにしていきたいと思えます。話は変わり、戸籍のまどに息子の名前を自ら載せることができ大変光栄です。広報担当2年目になりました斎藤晃司です。今年もよろしくお願います。皆さんからのたくさんの情報をお待ちしています。(斎藤)

5月の あいイベント Yui 屋内グランドゴルフ大会



- 日 時 5月18日(木) 13:30~16:00
 ■対象者 どなたでも
 ■持ち物 室内シューズ、スティック、ボール (スティック・ボールは貸出可能)
 ■参加費 1人300円 (保険料込)
 ■申込締切 5月16日(火)

第10回Yui 3×3バスケットボール大会

- 日 時 5月21日(日)
 8:30受付 9:00開始
 ■場 所 町民総合体育館
 ■対象者 中学生以上
 ■参加費 1人1,000円 (保険料込)
 5人までエントリー可能
 ■申込締切 5月11日(木)

- 申込・問合せ先
 (☎62-5808)



～白い森バードウォッチング～

- 日 時 5月20日(土) 8:30~14:30
 ■集 合 小国町民総合体育館駐車場 8:30集合
 ■定 員 先着10名 (どなたでも参加できます)
 ■参加費 500円 (保険代込)
 ■持ち物 帽子、雨具、タオル、飲み物、お弁当、
 双眼鏡など
 ■申込締切 5月12日(金)

～越後米沢街道・十三峠トレッキング～

- 日 時 5月27日(土) 8:30~17:00
 ■コース 諏訪峠～宇津峠～大久保峠 (約10.8km)
 ■集 合 旧白沼小中学校 8:30集合
 ■定 員 先着20名 (どなたでも参加できます)
 ■参加費 1,500円 (保険代込)
 ■持ち物 帽子、雨具、手袋、飲み物、お弁当など
 ■申込締切 5月19日(金)

- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
 (☎62-5955) へ

シリーズ

地域のブランド化とは

その①

今年度、町では、産業振興課内に白い森ブランド戦略室を設置し、本町の多様な地域資源のブランド化に取り組むこととしています。そこで、ブランド化とは何か、何を目指していくのか、その基になる地域資源とは何かをシリーズで紹介していきます。

「先人の教え」

「あの品物は、あの企業が作っているものがいい。」こうした、いわゆるブランド品を選択する行為は、日常生活のさまざまな場面にあります。このブランド化とは、その商品をあえて選択する理由を消費者が認識している状態を作り上げることにあると言われています。こうした考え方を「小国」という地域に置き換えて考えた場合、そのブランド化とは、一つに地域発の商品、サービスのブランド化と、さらに地域イメージの

ブランド化を結びつけて、地域内外の多様な資金や人材を呼び込み持続的な地域経済の活性化を図ることにあります。

米沢藩中興の祖と言われる上杉治憲公（鷹山公）は、疲弊した藩財政を立て直す手立てとして、学問の奨励と殖産興業に取り組みました。その一つとして、安永九年（1780年）に藩内の村々の特性に合う副業を教示されていますが、小国郷に関することは「小国往来」としてま

とめられています。内容は、集落毎の地勢や気象的条件などからその地に適した産物を示し、それを栽培、採取し、加工、販売することによって地域の経済性が高まっていくことを論されたものであり、すなわち「地域のブランド化」を目指した取り組みであったと言えるのではないのでしょうか。次号からこうした先人の教えを受け継ぎながら、さまざまな知恵を加えて築いてきた小国の地域資源を紹介していきます。

地区名	産物	地区名	産物	地区名	産物	地区名	産物
赤柴（芝）	鱒、ウグイ	下小渡	芋	町原	コンニャク	滝	白芋、岩茸
朝篠	串柿	黒沢	クズ粉	足の水	ツキ栗	荒川	山女魚
樽口	ウド	百子沢	トコロ	湯の花	イグサゴマ	横川	鮎
田沢頭	松茸	増岡	畳表	網代瀬	芋、ヤマノイモ	田代	ワラビ
針生	ミノ、結桶	団子山	鴨	北村	ドジョウ	滝倉	鬼腸
古田	板敷居	金目	菅ゴザ、舞茸	玉川	葛布	樋倉	シシタケ
若山	足駄	片貝	木履	舟渡	箕	越戸	カモシカ皮
種沢	木葛籠	伊佐領	大豆	小倉	芦	西根	カジカ
大滝	萱	子持峠	萩	砂田	ゴボウ	坂町	絹上々入布
折戸	面桶	石滝	塗物	五味沢	松、塗具器、木地		
今市	真綿	荒沢	トウハゼ	小玉川	すげ笠		

【参考資料 上杉治憲公 小国郷の副業奨励】